

オンラインゲーム交流会

オンラインゲーム交流会を通して、小学生の子供たちとの関わり方を学ぶことができました。

今回のオンラインゲームの内容としては、Zoomにあるサイトを使用して、擬音当てクイズやNGワードゲームで子供たちと交流しました。

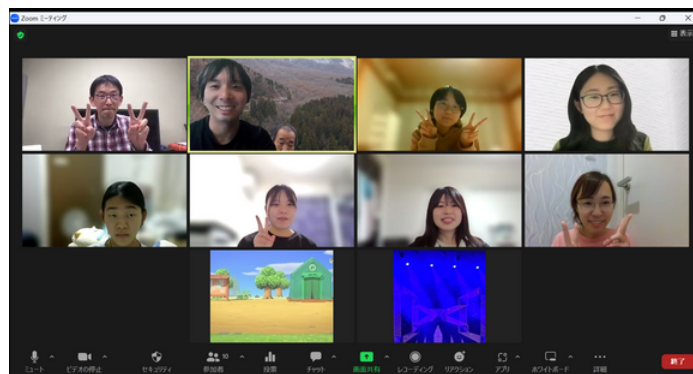
最初はあまり空気になじめず話せなかった子もだんだんと明るくクイズに参加してくれて、最後には笑顔で終わることができてとても嬉しく思いました。



不登校関係者情報交換会

NPO法人ちもり「フリースクールここあつと」管圭さんから話を聞き、不登校児等が学校へ通うことが難しくても地域に様々な教育を受けることのできる居場所があることはその子たちや保護者にとって安心でき、地域で育てていくことにもつながると感じました。

フリースクールでは勉強だけでなく、ゲームを楽しむ時間などもあるようですが、学校とは違って学ぶことが異なるため学力面で今後困り感を感じるのではないかと疑問に思いました。



スタッフ活動の感想：千葉さん

子どもに関わるボランティアに参加したいという思いから、大学1年生の頃からFESに参加させていただいています。

私が担当している子は、笑顔が素敵な可愛い子で、一緒にゲームをしたり、ピアノを聞かせてもらったりと楽しく活動しています。今年の2月には実際に会う機会を設けていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

近いうちに、活動を後任の方に引き継ぐ予定なのですが、最後まで楽しく活動できたらいいなと思います。

保護者向けアンケート結果

学校生活を楽しんでいます。同年代の友達ができました。

昨年は、イベントの時だけ、学校を休んで支援センターに通いました。支援センターには、小学1年生から、高校生までの友達があります。学校とは違う大切な友達です。

今後も支援センターの登録だけは本人希望で継続します。毎年、中学3年生を送る会にだけ出たいそうです。そして、自分自身が中3になったら送る会に出て支援センターを卒業したいと考えていると言っています。

安心できる居場所ができて、先生、友達との信頼関係を築いています。

何かあれば、学校に行かなくても支援センターにいつでも行けるという逃げ道を作って、学校へは通っています。

ソーシャルワーカーさんとも親子共にずっと関わってもらっているの、いつでも相談できて安心できています。

